

対話とチャレンジ

新年あけましておめでとうございます。
市長に就任して8ヶ月が経ちました。コロナ対策を言い訳にはいけませんが、まだまだです。引き続き頑張ります。
就任してから「対話」と「チャレンジ(挑戦)」を提唱してきました。昨年パラリンピックで金メダルを獲得した杉浦佳子選手は、何歳になってもチャレンジできる姿を見せてくれました。掛川で子育てをしてみたい、農業をしてみたい、地域活動をしてみたい、介護に取り組みたいなど、様々なチャレンジ(挑戦)を応援し、本音の対話の機会を大切にします。
本年1月9日には将棋「王将戦」が開幕し、藤井聡太竜王(四冠)が渡辺明王将(三冠)に挑戦する第1局が掛川城二の丸茶室で開催されます。2月の北京五輪では静岡県勢初の冬季五輪メダル獲得を目指す桜が丘中出身の高校生、スノーボード・アルペン女子の三木つばき選手の活躍が期待されます。また、掛川出身の大島司さんによるサッカー漫画「シュート!」続編が本年にオリジナル新作アニメ化されることも発表されました。
今年も対話とチャレンジを全力投球で進めていきますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

掛川市長 久保田 崇



全国報徳サミット in 掛川の司会を務めた掛川工業高校生徒と。



7月に発生した熱海土石流災害の現場視察。



早朝 6:45 より予告なしの職員招集訓練を行いました。



中東遠6市町と公立5病院の連携協定を締結。



パラ自転車ロードで2冠達成、杉浦佳子さんが掛川市凱旋。



東京五輪女子ソフトボール金メダルの山崎早紀選手と。

市民と行政の対話を重視しながらまちづくり

対話志向

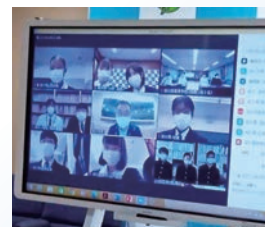
子育てママとの意見交換会

子育て世代のお母様を中心に皆様と意見交換させていただきとても充実した時間になりました。話題は、待機児童、保育の質、不登校、発達支援、学園化構想、保育士配置、子育て支援センターからお祭りや地域の話など、多岐にわたりました。



YouTube
コチラから動画をご覧ください。

かけがわまちづくりミーティング開催



形式的ではなく本音で対話する場作りをすすめます。12月14日に地区集会の代替として開催した「かけがわまちづくりミーティング」では中立的立場のファシリテーターやお手伝いの高校生にも参加いただきました。

新しい技術を取り入れ、掛川を次のステージへ

未来試行

掛川市公式LINE登録者32,000人突破



掛川市公式 LINE 登録者は32,000人を突破。掛川の特産品プレゼントキャンペーンも好評でした。子育てや観光、防災情報などの情報を充実させていきます。

全国初、夜間自動運転車両の実証実験

夜間に公道で実験を行うことは全国初の取組。光のオブジェ展に合わせて駅前ですべての実験は事情により延期されましたが、引き続き未来の市民の移動手段について研究していきます。



掛川で12月自動運転実験
市議会でも市長 全国初、夜間走行も
掛川市議会が12月、公衆利用型自動運転の実証実験を行う。市議会でも市長 全国初、夜間走行も

既成概念にとらわれず時代に合った市政を

柔軟思考

県内初、副市長や広報戦略官等を公募

市政にとって重要なのは「スピード」と「柔軟性」。国や県の動きを見て、受け身で対応していくだけでは生き残っていかない。とくに危機的状況においてスピード感を持って、柔軟に対応していく。地方自治体から課題を見つけ、ポストコロナ時代に対応して積極的に打ち手を考え、地方から国に提案していけるような自治体に改革したいと考えます。



静岡県掛川市
「副市長」を初公募。
45歳、新市長と共に次のステージへ。

「4市長の会」発足で関係を強化



磐田、掛川、袋井、菊川の四市長が一堂に会し、情報交換をする「令三会」が発足。第六波に対応する医療連携や観光・移住面での広域連携などの意見交換を行っています。



茶エンナーレの開幕に合わせて、「市長室美術館」がオープン。



大洲の海岸防災林にて潮騒の杜植樹祭に参加。



震災から10年、陸前高田市の戸羽太市長と再会。



12月、掛川市ポッチャ大会でパラで話題の競技を初体験。



敬老の日、100歳おめでとうございます！



クロスセクター・リーダーズアワード特別賞を受賞。